



一般社団法人 電波産業会  
Association of Radio  
Industries and Businesses

No.1155 2019年1月21日

ARIBの動き

### APG-19 第4回会合に参加

APG-19 第4回会合が開催されましたので、その概要をお知らせします。

APG-19 (APT Conference Preparatory Group for WRC-19) は、2019年10月28日から11月22日に開催される世界無線通信会議 (WRC-19) に向けて、アジア・太平洋電気通信共同体 (APT: Asia-Pacific Telecommunity) の共同提案 (APT Common Proposal) を作成することを所掌しています。2019年7月の最終会合まで全5回予定されており、今回が第4回の会合 (APG19-4) です。議長は Kyu-Jin Wee 氏 (韓国) です。

#### 1 会合の概要

- ・ 日 程：2019年1月7日 (月) ～12日 (土)
- ・ 場 所：韓国・釜山 Haeundae Grand Hotel
- ・ 参加者：23ヶ国から437名が参加 (日本は総務省国際周波数政策室 深堀室長を団長に64名が参加、当会から西岡、佐藤、小山、加藤の4名が参加)



APG-19 第4回会合の様子

## 2 主要結果

今会合では、WRC-19 の各議題における APT 共同提案の策定に向け、前会合に引き続きそのベースとなる APT 暫定見解文書を更新しました。下記に、主な議題における審議結果を示します。

(1) 議題 1.11：移動業務へ分配済の周波数帯域における列車・線路間の鉄道無線通信システム (RSTT) を支援するための周波数調和の促進

138-174MHz、335.4-470MHz、703-748MHz、758-803MHz、873-915MHz、918-960MHz、1 770-1 880MHz、43.5-45.5GHz、92-109.5GHz (またはこれらの一部) は第 3 地域における調和可能性のあるバンドと考えられること、138-174MHz、335.4-470MHz、873-915MHz、918-960MHz (またはこれらの一部) は世界的な調和バンドとして他の地域で検討されることを希望すること、を暫定見解としました。

(2) 議題 1.12：移動業務へ分配済の周波数帯域における ITS の推進のための世界的あるいは地域的な周波数利用の調和に向けた検討

5 850-5 925MHz (またはこの一部) を世界的調和バンドとして考慮すること、また ITU-R 勧告 M.[ITS\_FRQ]に記載され現在利用されている ITS 周波数を地域的調和バンドとして考慮することを暫定見解としました。併せて、ITS の発展は LTE based V2X を含む特定の技術に制限も排除もされないことがないこと、ITS による周波数利用は他に既に使用されている一次業務に更なる制限を与えないこと、及び移動衛星業務地球局上りリンクを含む他の一次業務からの干渉に対して適切に考慮すること、が記載されました。

(3) 議題 1.13：将来の IMT の開発のための IMT 用周波数特定の検討

本議題は、24.25GHz から 86GHz までの 11 の候補バンドを対象に IMT 割当を検討するものです。本会合では 3 つの候補バンドについて下記の暫定見解を作成しました。他の候補バンドについては継続検討としました。

- ✓ 24.25-27.5GHz：IMT 特定。併せて地球探査衛星業務 (受動) 保護のため不要発射レベルを規定する決議 750 (Rev.WRC-15) を更新する (具体的な不要発射レベルは継続検討)
- ✓ 31.8-33.4GHz：RR を変更しない (IMT 特定しない)
- ✓ 37-40.5GHz、40.5-42.5GHz、42.5-43.5GHz：全体または一部を IMT 特定。また、37-43.5GHz 全体から、各国、地域の判断で異なる部分を利用しうることを共通理解とする

(4) 議題 1.15：275-450GHz の能動業務への特定に関する検討

現在 ITU-R にて周波数利用の調和に向けた検討が行われており、本会合では受動業務の保護がなされることを前提に引き続き ITU-R における検討を支持すると共に、周波数特定の際には Radio Regulation の該当箇所に新たな脚注を追加すること、を暫定見解としました。

(5) 議題 1.16 : 5 150-5 925MHz における無線 LAN を含む無線アクセスシステムに関する規制措置の検討

現在 ITU-R にて周波数利用の調和に向けた検討が行われており、本会合では引き続き ITU-R における検討を支持すると共に、下記の暫定見解を作成しました。

- ✓ 5 150-5 350MHz、5 350-5 470MHz、5 725-5 850MHz、5 850-5 925MHz における既存業務を保護
- ✓ 5 250-5 350MHz、5 350-5 470MHz、5 850-5 925MHz : RR を変更しない
- ✓ 5 150-5 250MHz : 既存業務を保護する条件で、屋外での利用可能性を引き続き検討
- ✓ 5 725-5 850MHz : 無線規則 No.5.453 を考慮し、世界的な利用を支持

3 次回会合予定

次回最終会合となる第 5 回は 2019 年 7 月 31 日-8 月 6 日 に日本にて開催され、WRC-19 への APT 共同提案を完成させる予定となっています。

## 第 257 回 業務委員会を開催

第 257 回業務委員会を開催しました。

1 日時： 2019 年 1 月 16 日（水） 午後 3 時 30 分から 4 時 15 分まで

2 場所： 当会第 4 会議室

3 議題

- (1) 第 110 回規格会議の開催について
- (2) エルサルバドルの地デジ本放送開始記念式典及び地デジセミナーの結果について
- (3) 2018 年電波利用懇話会の開催状況について
- (4) 第 25 回理事会等の開催(予定)について
- (5) 2019 年度 電波懇談会の開催スケジュール
- (6) 各社からのトピックス
- (7) その他

## 今週の ARIB 内会合（1 月 21 日～1 月 25 日）

- |             |                                |
|-------------|--------------------------------|
| 1 月 21 日（月） | 第 110 回規格会議                    |
| 1 月 22 日（火） | スタジオ設備開発部会 4K8K ファイルフォーマット JTG |
| 1 月 23 日（水） | スタジオ設備開発部会 機器間インタフェース作業班       |
| 1 月 23 日（水） | 高度無線通信研究委員会 標準化部会              |
| 1 月 23 日（水） | 第 271 回技術委員会（放送分野）             |

## 今週の国際会合（1月21日～1月25日）

参加を予定している会合はありません。

## 総務省からのお知らせ

### 「5G 国際シンポジウム 2019」開催のお知らせ

2020年に実現が期待されている第5世代移動通信システム（5G）について、「5Gが変える人、モノ、社会。」をテーマに、5Gが私たちの生活や社会に与える変化を捉えること、合わせて総務省による「5G 総合実証試験」の成果を国内外にアピールすることを目的として、国際シンポジウムが、次のとおり開催されますのでお知らせします。



1. 名称： 「5G 国際シンポジウム 2019」
2. テーマ： 「5G が変える 人、モノ、社会。」
3. 主催： 総務省  
共催： 第5世代モバイル推進フォーラム（5GMF）  
一般社団法人 電波産業会（ARIB）  
後援： 一般社団法人 情報通信技術委員会（TTC）
4. 日時： 2019年1月29日（火）～ 30日（水）  
09:30 - 17:00 （初日午前は展示のみ実施）
5. 場所： 東京お台場 国際交流館 プラザ平成  
国際会議場（400名収容）、展示ホール等
6. プログラム：  
別添のとおり
7. 展示：
  - ・ 5G 総合実証試験の成果報告及び各社の取組の展示・デモを予定
  - ・ 一般向けに容易な理解とアピールを訴求
  - ・ 1月11日に選考会が実施された総務省主催「5G 利活用アイデアコンテスト」の入賞案件のポスター展示を予定
8. 使用言語：  
講演等は日本語または英語、同時通訳  
スライドは英語・日本語併用

## 9. 参加申し込み方法：

シンポジウムへの参加につきましては「事前登録」が必要です。  
参加申し込み、プログラム等の詳細は以下の 5GMF ウェブページから  
お願いいたします。

<https://5gmf.jp/event/20181207141042/>

別添

### 「5G 国際シンポジウム 2019」プログラム(案)

#### 1月29日(火)

13:00 - 13:10 主催者挨拶 総務省

13:10 - 13:20 基調講演

吉田 進 第5世代モバイル推進フォーラム(5GMF) 会長

#### 第1部：地方創生とパートナー連携

13:25 - 14:35 地方課題解決、地域活性化に資する 5G 利活用アイデア】

- ・5G 利活用アイデアコンテストの概要説明 (総務省)
- ・5G 利活用アイデアのプレゼンテーション (コンテスト受賞者)

14:35 - 15:35 特別講演  
(調整中)

15:35 - 17:00 パネルディスカッション【5G パートナー連携】

(モデレーター) 岩浪 剛太 (株)インフォシティ代表取締役 (5GMF アプリ委員長)  
木村 和之 (株)小松製作所 戦略企画推進室長  
末吉 康則 (株)クボタ 計測制御技術センター KSIS 開発グループ長  
田中 貞朗 セコム(株) 技術開発本部 副本部長  
大友 真吾 (株)CyberZ 執行役員

#### 1月30日(水)

#### 第2部：5G 総合実証試験の成果発表

(モデレーター) 安達 文幸 東北大 特任教授・名誉教授

10:00 - 12:00 第1セッション「屋外環境における 5G 超高速通信の実証試験」

奥村 幸彦 (株)NTT ドコモ

「高速移動環境における 5G 高速通信の実証試験」

一瀬 正則 エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ(株)

第2セッション「5G による超高速アップリンクの応用事例の実証試験」

松永 彰 KDDI(株)

「屋内環境における 5G 超高速通信の実証試験」

横山 浩之 (株)国際電気通信基礎技術研究所

第3セッション「自動運転を支援する 5G 超低遅延通信実証試験」

吉野 仁 ソフトバンク(株)

「5G の多数同時接続を活用した実証試験」

岡廻 隆生 Wireless City Planning(株)

第4セッション「東広島市における5Gスマートオフィスの取り組みについて」

橋本 光太郎 東広島市 情報政策課長

「5Gを活用した救急医療の高度化」

大野 誠司 前橋市 情報政策担当部長

第3部：5Gの国際展開

パネルディスカッション【5Gの電波伝搬】

13:30 - 14:40 (モデレーター) 秦 正治 岡山大学 名誉教授  
Henrik Asplund エリクソン 主任研究員  
HyunKyu Chung 韓国電子通信研究院 研究フェロー  
今井 哲朗 (株)NTT ドコモ 担当課長

パネルディスカッション

【5Gグローバル展開への日本の挑戦 ～新たなビジネスモデルは何か～】

14:55 - 16:25 (モデレーター) 関口 和一 (株)日本経済新聞社 編集委員  
渡辺 望 日本電気(株) 執行役員  
水野 信吾 富士通(株) ネットワークソリューション事業本部副本部長  
島田 啓一郎 ソニー(株) 執行役員  
根本 健二 クアルコムジャパン(株) マーケティング・ビジネス開発統括部長  
サムソン (調整中)  
エリクソン (調整中)

16:30 - 16:40 閉会挨拶 松井 房樹 (一社)電波産業会 専務理事

※ 受付・開場は両日とも9時30分から行います。  
展示は初日午前中から行います。

「空間伝送型ワイヤレス電力伝送システムの技術的条件」  
(平成30年12月12日付け諮問第2043号)に関する提案募集  
【平成31年1月17日発表】

情報通信審議会 情報通信技術分科会 陸上無線通信委員会(主査:安藤 真 独立行政法人国立高等専門学校機構 理事)は、「空間伝送型ワイヤレス電力伝送システムの技術的条件」(平成30年12月12日付け諮問第2043号)について検討を実施しています。

その調査・検討に資するため、本技術的条件について、平成31年1月17日(木)から同年2月1日(金)までの間、提案を募集しています。

詳細については[【平成31年1月17日の総務省報道資料】](#)をご覧ください。



Association of Radio Industries and Businesses

ARIB NEWS  
発行所

一般社団法人 電波産業会

☎100-0013 東京都千代田区霞が関一丁目4番1号 日土地ビル11階  
TEL 03-5510-8590 FAX 03-3592-1103  
<https://www.arib.or.jp> E-mail [arib\\_news@arib.or.jp](mailto:arib_news@arib.or.jp)